

個票5 林道設計における希少な動植物の生息・生育地の保全

〔森2(1)①1-1 森2(2)①1-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全 野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	希少種の保全 多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	生息・生育環境の改変を最小限に留めるルートまたは改変範囲の設定や工法、構造の採用		

内容

●林道設計における希少な動植物の生息・生育地の保全

【解説】

事業により希少な動植物の生息・生育地が消失するおそれがある場合、消失の回避を最優先とします。また、生息・生育地が事業地に隣接する場合には、影響が最小となるように努めることが重要です。

【具体的な工法・配慮事項】

●巨樹・巨木の回避

巨樹・巨木など移植が困難な植物を保全するためには、これらの樹木を回避して路線の線形を変更することにより、保全に努めることが大切です。

●林道に隣接する希少種の生息・生育環境の保全

林道の切土法面の湧水により湿地環境が創出することがあり、このような特殊な場所は希少種の生息・生育地となっていることがあります。林道の管理事業にあたっては、このような環境が消失しないように留意する必要があります。

【事例】



【場所】

兵庫県養父市関宮 林道瀨川・氷ノ山線

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 巨木のトチノキを避け、林道を開設したことにより、現在では良好な景観を見せている。

出典：1

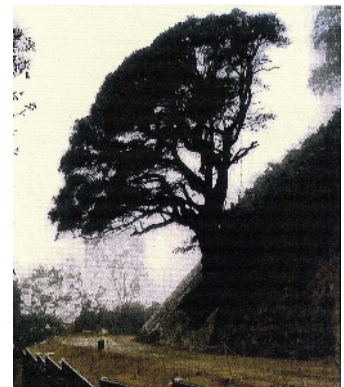
【場所】

兵庫県新温泉町諸寄 林道池ノ尾線

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 線形を谷側に移し、山側のスダジイの巨木を残すことで、環境に配慮している（平成15年度工事）。

出典：1



	<div data-bbox="288 248 724 801" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="762 241 1414 595" data-label="Text"> <p>【場所】 兵庫県養父市関宮 林道瀨川・氷ノ山線</p> <p>【環境配慮の内容と方法、工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 側溝に溜まった泥を取り除くと、クロセンブリの幼虫の生息地を奪うことになるため、周辺に木柵を施工し、泥を取り除くことなく路面への泥と水の影響を最小限にとどめている。 </div> <p data-bbox="288 869 368 902">出典:1</p>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 計画時に現地調査を実施して希少種の生息・生育状況を把握し、保全に関する検討を行うことが望めます。 希少種の分布状況などについては、学識者や地元で活動するNPOなどの活動団体へヒアリングを行い、事前に把握することが重要です。
参考資料	<p>1 「瀨川・氷ノ山林道」周辺の自然環境調査」兵庫県但馬高原林道建設事務所</p>